

題名 派遣団に参加して

北押原 中学校 (氏名) 篠原美桜



広島で過ごした3日間は、とても貴重なものとなりました。原爆チームの骨組が残っていない屋根や、くずれかけた壁を初めて間近で見ると、想像以上の悲慘さで、原爆の恐ろしさを痛感しました。式典や火葬う流しでは、たくさんの人々が平和を願う姿を見て、平和や命の尊さを改めて感じ、それを伝えていこうという決意がうまれました。講話学習では、「どうしてやることもできなかつた。」という言葉が胸にささりました。助けたくても、助けがあげられない、たとえ家族が死んでしまっても悲しむひまもない。これを聞いて、戦争や原爆は、街や建物だけでなく、人々の願いや平和な世の中までもこわしてしまふものだと思いました。今回学んだことを共有していま、1人で多くの人が平和な世界を願えるようにしていきたいです。